

カスリーン台風から70年 公開講座と現場見学会を開催

◆2017年は、カスリーン台風から70年。地域の方々に水害の恐ろしさ、防災避難の重要性を改めて認識していただくため、当時の状況や洪水が起きた場合の対応等についての公開講座と、決壊地点等における現地見学会を開催しました。

- ✓ 当日は、カスリーン台風70年のパネル展示も行うとともに、降雨体験車による台風時の大雨体験も実施しました。
- ✓ 参加者からは、「地元熊谷市の人間として、洪水の歴史を知ることが大切。その中でカスリーン台風被害は参考となり、具体的に学べたことに感謝します」とか「今後もこのような勉強会を学校などでも公開していただけるとありがたい」などの言葉を頂き、大変好評でした。

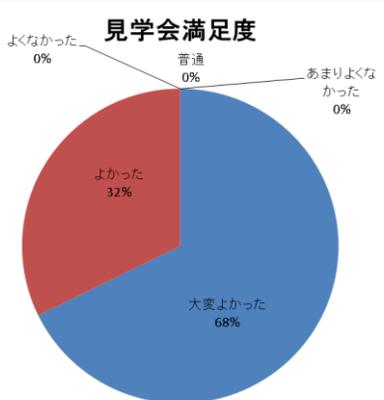
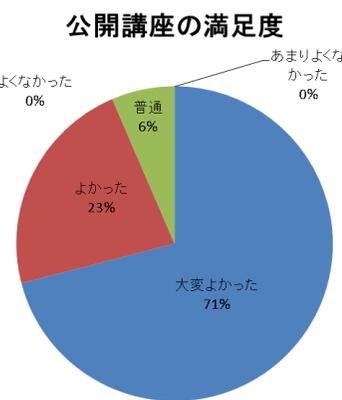
「カスリーン台風から70年 公開講座と現場見学会」開催概要
 日時:平成29年9月16日(土)10時~16時
 場所:熊谷市大里コミュニティセンター
 内容
 ・公開講座
 ①「台風に備えて ~カスリーン台風から70年公開講座~」(熊谷气象台)
 ②「カスリーン台風から70年水防災社会の再構築について」(荒川上流)
 ・現場見学会
 ①「決潰の跡」碑(熊谷市久下地先)②久下地区水防拠点(備蓄ヤード:高規格堤防)
 ・降雨体験車による台風時の大雨体験
 見学者数:33名



公開講座の様子



パネル展示の様子



現場見学会の様子(決潰の跡碑)



降雨体験の様子